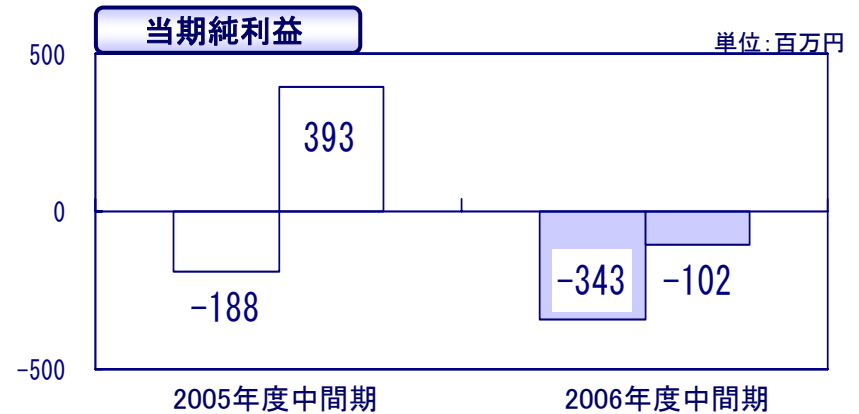
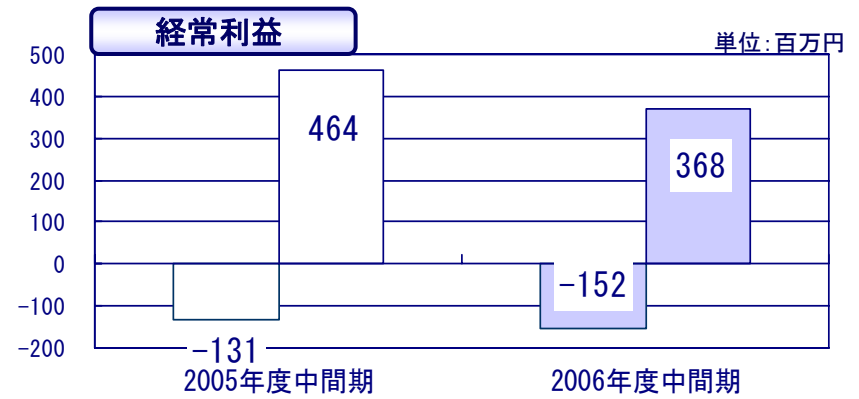
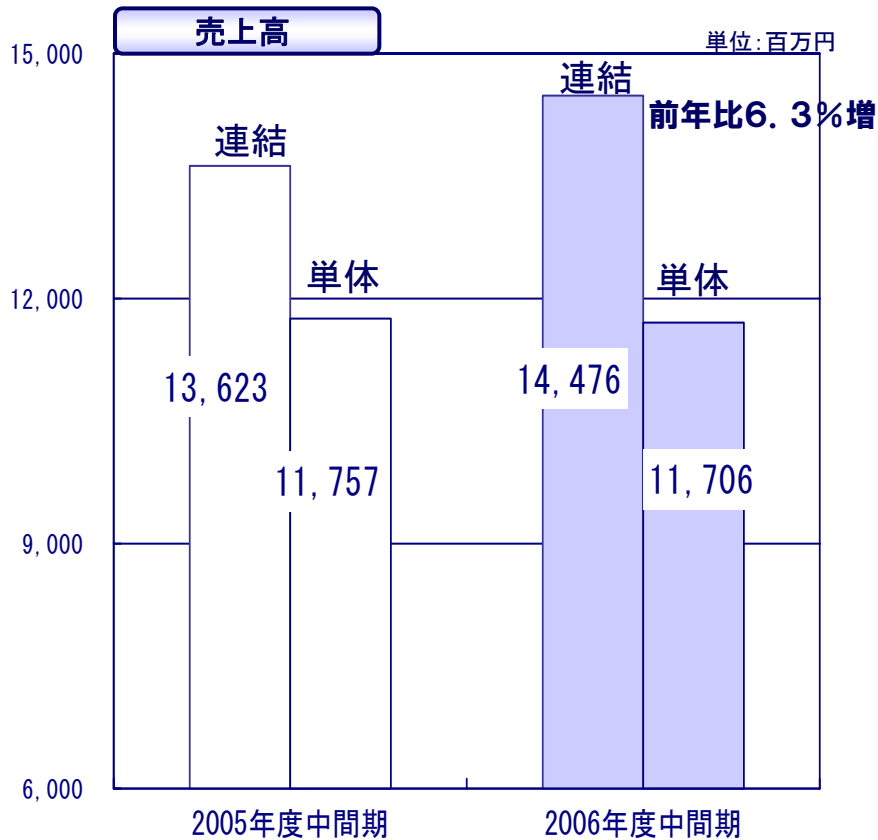


**2007年3月期
中間期決算及び通期業績見通し
説明資料**

インフォコム株式会社
2006年11月15日

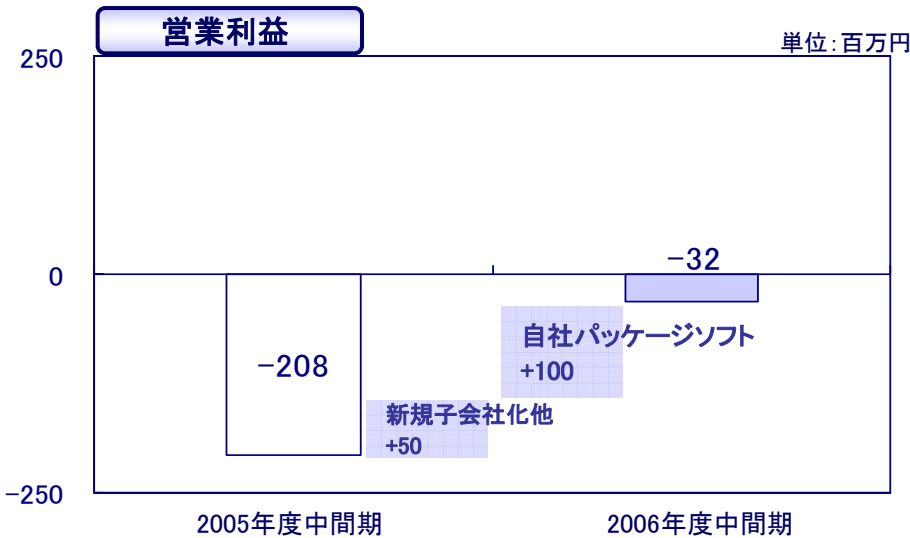
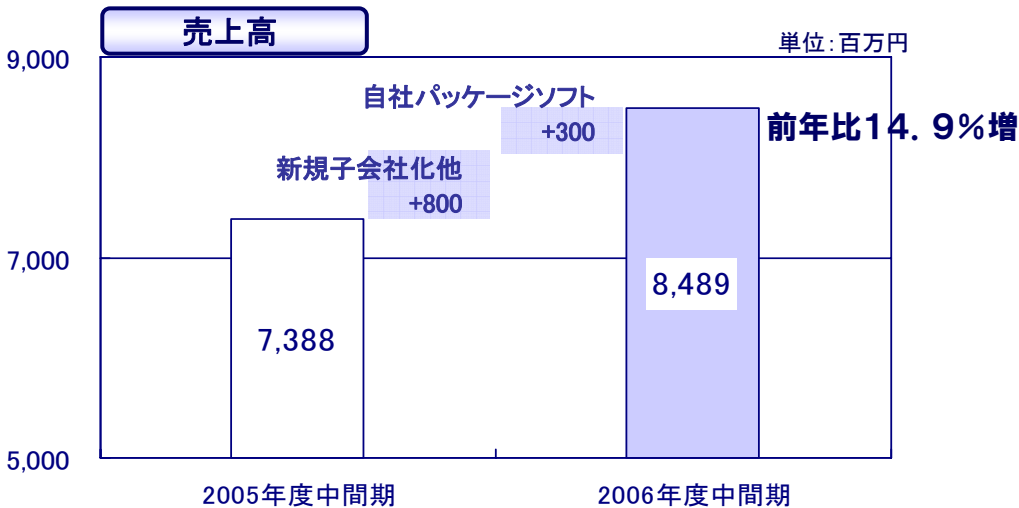
2007年3月期 中間期 決算

■2007年3月期 中間期の業績



単位:百万円

	2005年度中間期		2006年度中間期		連結差異		単体差異	
	連結	単体	連結	単体				
売上高	13,623	11,757	14,476	11,706	853	+6.3%	△51	△0.4%
経常利益	△131	464	△152	368	△21	-	△95	△20.5%
当期純利益	△188	393	△343	△102	△154	-	△495	-



中間期までのTOPICS

◎前年度新規子会社化が寄与

・2006/12連結子会社化したログイット社業績が寄与

◎自社開発パッケージ展開

・内部統制/日本版SOX法対応を含め、自社開発パッケージの販売が順調

○OGRANDIT事業

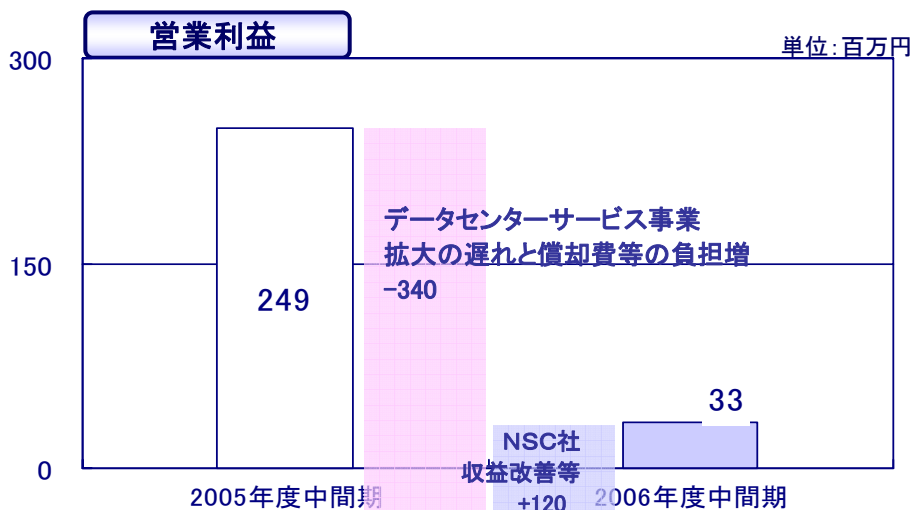
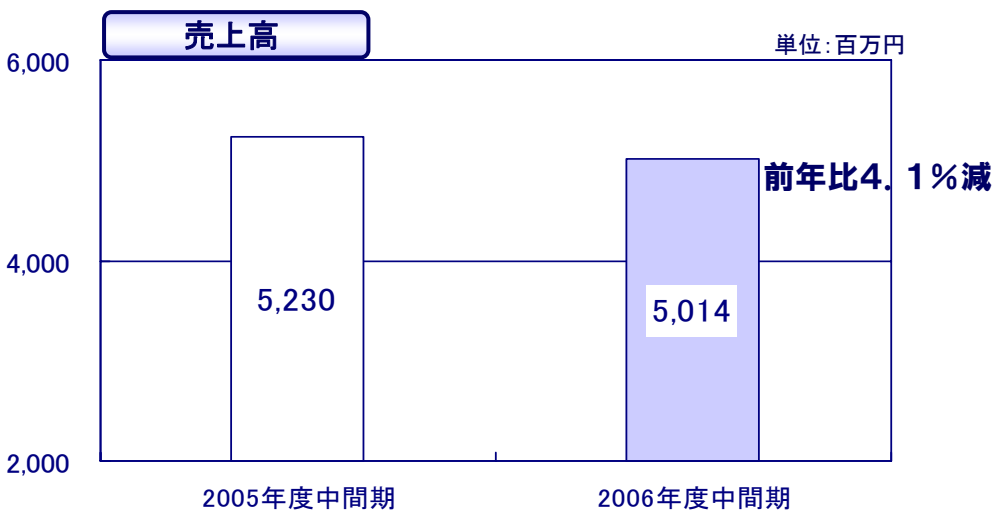
・DACS社が新規加盟、受注140社超、内部統制等機能の充実化

○一部SI案件の下期ズレ込み

・大口顧客向けSI案件の下期ズレ込み

※セキュリティソリューション事業をフロンティア・セグメントに移管、当資料では移管後の数値を表記

■2007年3月期 中間期連結業績 サービス・セグメント



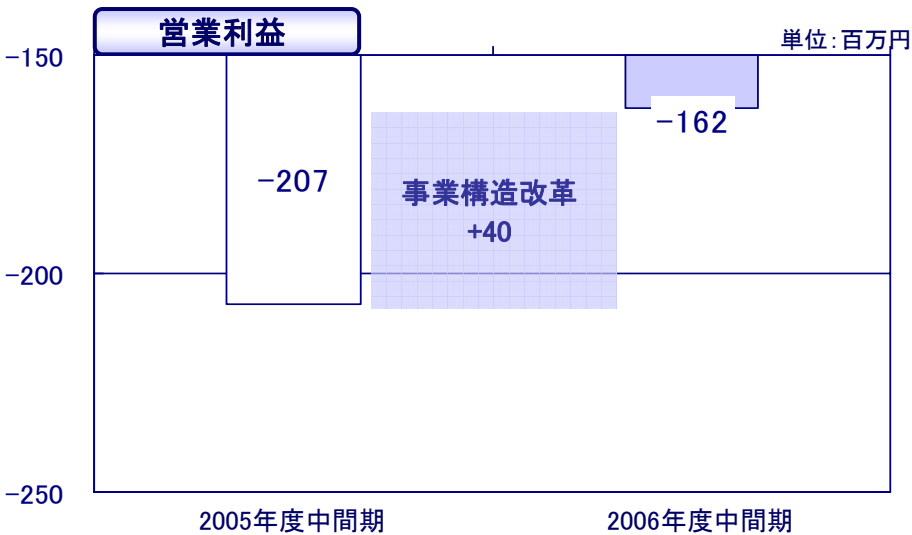
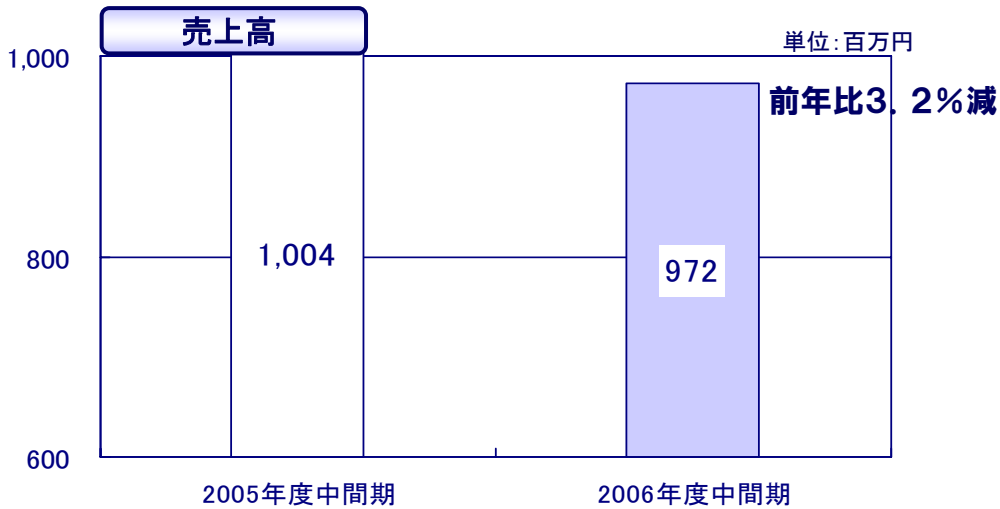
中間期までのTOPICS

◎データセンターサービス事業

・データセンターサービス事業拡大の遅れと自社保有化による償却費等の負担増

◎ニュース・サービス・センター社(NSC)収益改善

・前年度から継続的に着手しているコスト削減効果による収益改善



中間期までのTOPICS

◎**収益性向上**

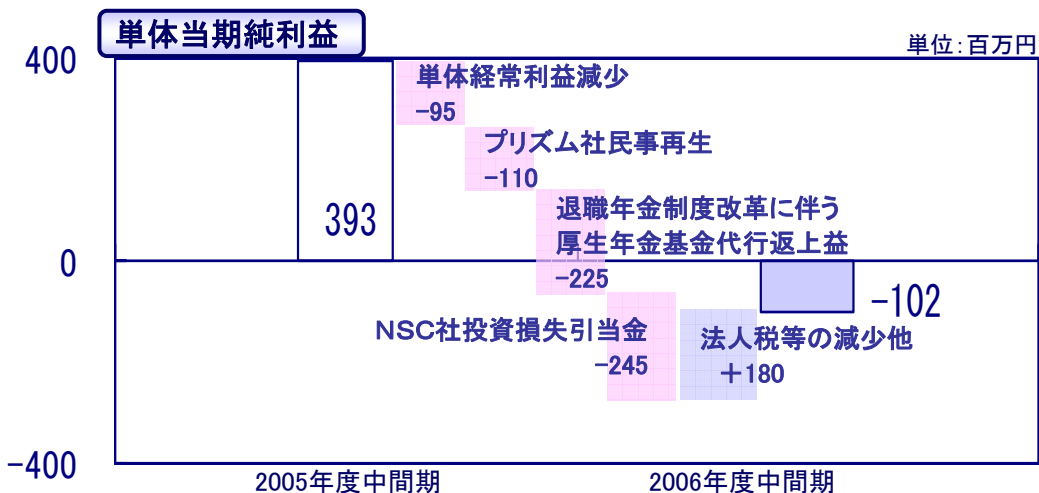
- ・前年度より継続着手している改革効果発現
- ・特にバイオサイエンス事業は、中間期で収益均衡を達成

◎**自社開発パッケージ展開**

- ・農林水産生産者向け知財管理システム「品種管理システム」等

※セキュリティソリューション事業を当セグメントに移管、当資料では移管後の数値を表記

■2007年3月期 中間期連結業績 当期純利益



中間期までのTOPICS

【単体】

◎プリズム社株式評価損等

・11月2日に生じた同社の民事再生手続き申請に伴う有価証券評価損等

◎NSC社株式投資損失引当

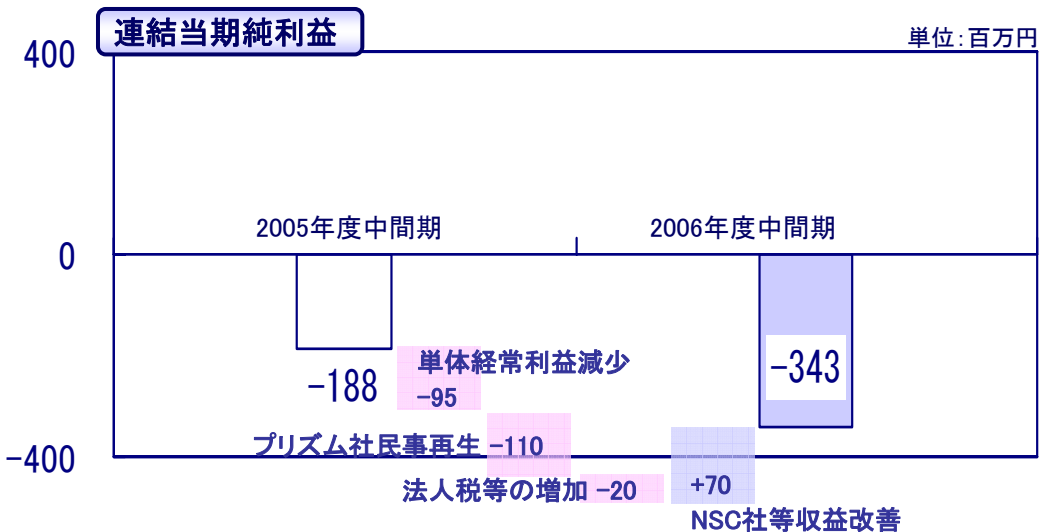
・当社株式評価方法を適用し引当

●土地収用のずれ込み

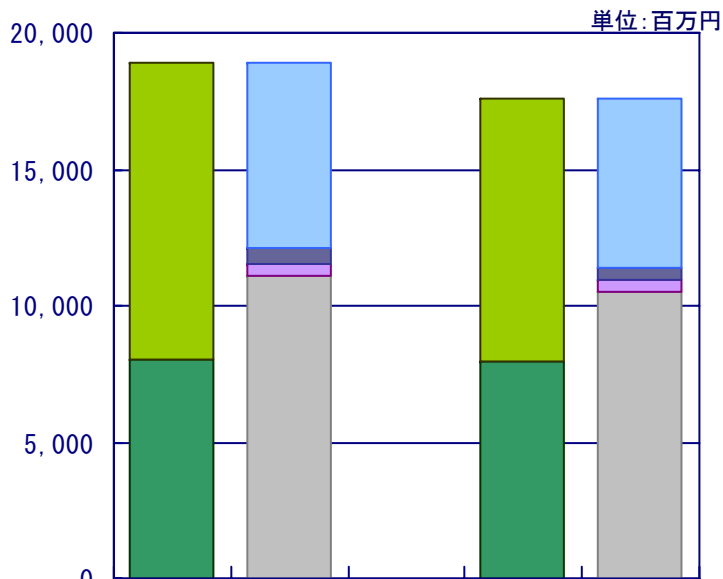
・3月に自社保有とした新横浜データセンター施設の敷地の一部収用の具体化が下期に遅延

【連結】

◎NSC社コスト削減効果による収益改善



■2007年3月期 中間期連結貸借対照表



	2005年度 期末	2006年度 中間期
■ 流動資産	10,903	9,624
■ 固定資産	8,018	7,989
資産計	18,922	17,614
■ 流動負債	6,775	6,206
■ 固定負債	623	491
負債計	7,398	6,698
■ 少数株主持分	452	381
■ 純資産-少数株主持分	11,070	10,534
負債/純資産	18,922	17,614
自己資本比率	58.5%	59.8%

前期末との主たる増減要因

■流動資産

- ・現金及び預金の増加 +901
- ・回収等による売掛金の減少 $\Delta 2,912$
- ・たな卸資産の増加 +502

■固定資産

- ・パッケージ等ソフトウェアの増加 +192
- ・償却によるのれん勘定の減少 $\Delta 105$
- ・プリズム社民事再生法申請に伴う有価証券の減損 $\Delta 98$

■流動負債

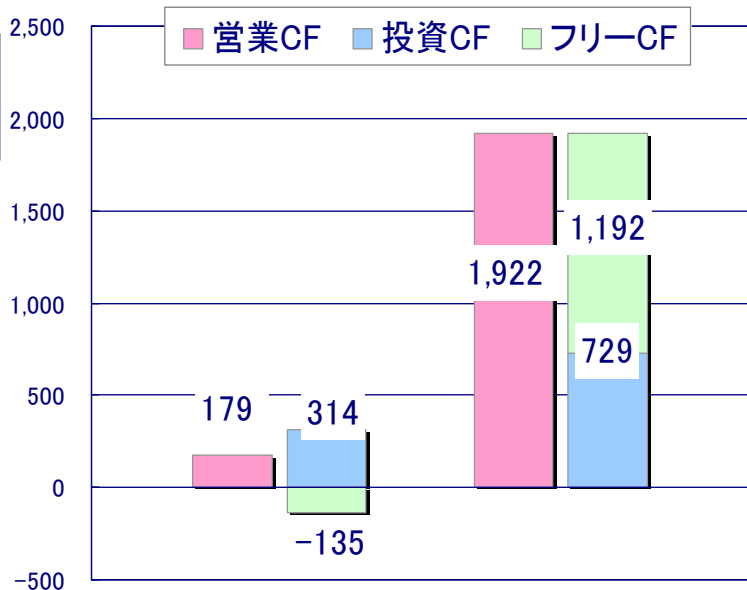
- ・買掛金の減少 $\Delta 542$
- ・納税による未払法人税等の減少 $\Delta 628$
- ・チケットコマース大型案件獲得等による預り金の増加 +468
- ・年間保守料受領等の前受金の増加 +188

■2007年3月期 中間期連結キャッシュフロー

単位:百万円

	2005年度中間期	2006年度中間期
営業キャッシュフロー	179	1,922
投資キャッシュフロー	-314	-729
財務キャッシュフロー	-346	-260
現金及び現金同等物に係る換算差額等	14	-5
現金及び現金同等物の増減額	-467	926
現金及び現金同等物の期首残高	4,951	1,343
現金及び現金同等物の期末残高	4,484	2,269

フリー
キャッシュフロー



主たる増減要因

■営業CF

- ・仕入債務減少額の減少 +804
- ・チケットコマース大型案件獲得等による預り金増加額の増加 +285
- ・のれん等償却費の増加 +149
- ・法人税等納付額の減少 +313

■投資CF

- ・子会社保有有価証券の売却収入の減少 △161
- ・子会社取得収入の減少 △252

■財務CF

- ・子会社の借入金の返済額の減少 +45
- ・少数株主からの払込による収入 +40

■2007年3月期 インフォコムグループ構成(本日現在)



インフォコム株式会社

東京都千代田区神田駿河台3-11

■ 携帯電話事業者、一般消費者、官公庁、教育研究機関、医薬医療関係の機関・企業、その他一般企業の顧客に対して情報システムの企画・開発・コンサルテーションなどの各種ITソリューションの提供

■ 携帯電話などへのコンテンツ提供、情報通信システムの運用・管理などの各種サービスの提供

100.0%	(株)インフォコム西日本 山口県周南市御幸通り1-1	ソフトウェアの開発
100.0%	(株)インフォコム四国 愛媛県松山市北吉田町77 帝人松山事業所内	ソフトウェアの開発
80.2%	インフォベック(株) 東京都千代田区神田駿河台3-11	純国産次世代Web-ERP「GRANDIT」の開発・販売
75.7%	イメージシティ(株) 東京都台東区池之端1-2-18	金融情報配信サービス、緊急連絡システム販売、ソフトウェアの開発、SIサービス
100.0%	ログイット(株) 東京都豊島区南大塚2-25-15	音声録音システムなどの販売・開発
66.9%	ホワイトバジマ・ジャパン(株) 東京都千代田区神田駿河台3-11	コンタクトセンター向けソリューションの提供

サービス

100.0%	インフォコムサービス(株) 東京都千代田区神田小川町2丁目12番	情報処理サービス
71.5%	(株)ニュース・サービス・センター 東京都千代田区平河町2-3-11	モバイルでのニュースサービスの提供
50.3%	SYSCOM (USA) Inc.(米) 1 Exchange Plaza 55 Broadway,17th Fl. New York,NY 10006	ネットワークインフラSI
20.2%	(株)ドゥマン 茨城県筑西市下岡崎2-9-1	食品関連商材を中心としたe-コマース

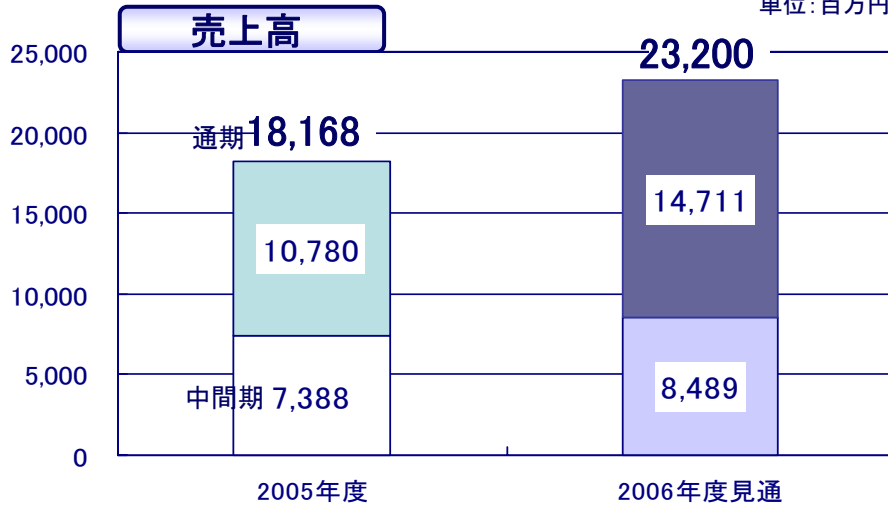
フロンティア

100.0%	Infocom America Inc. One Exchange Plaza 55 Broadway,17th Floor.New York,NY 10006	市場調査、情報収集
51.0%	Lighthouse Data Solutions,LLC.(米) 436 Creamery Way, Suite 500 Exton, PA 19341 USA	医薬品化合物関連データの開発・販売
58.8%	フローラインフォマティクス有限責任事業組合 東京都千代田区神田駿河台3-11	腸内等の細菌プロファイリングに関する解析についての研究、及びデータベース、判定システムの開発

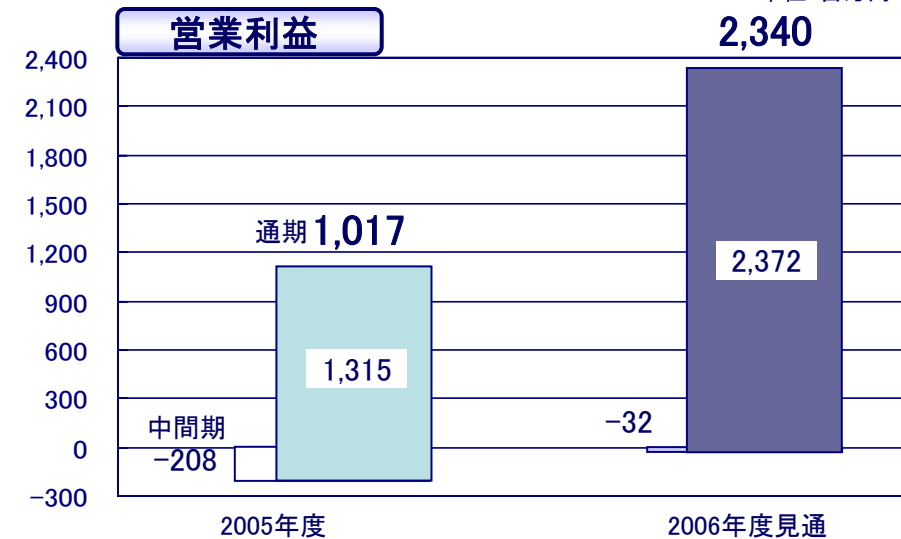
尚、(株)ドゥマン及びフローラインフォマティクス有限責任事業組合は、2006年10月にインフォコムグループとなりました。

2007年3月期
通期 連結業績見通し

単位: 百万円



単位: 百万円



下期主要アクション

◎**大口顧客向け**

➢ 総合的ITソリューションの提供継続と充実

◎**企業向け**

➢ **GRANDIT事業**

・展開を加速、コンソーシアム体制の強化

➢ **音声関連/コンタクトセンター向け事業**

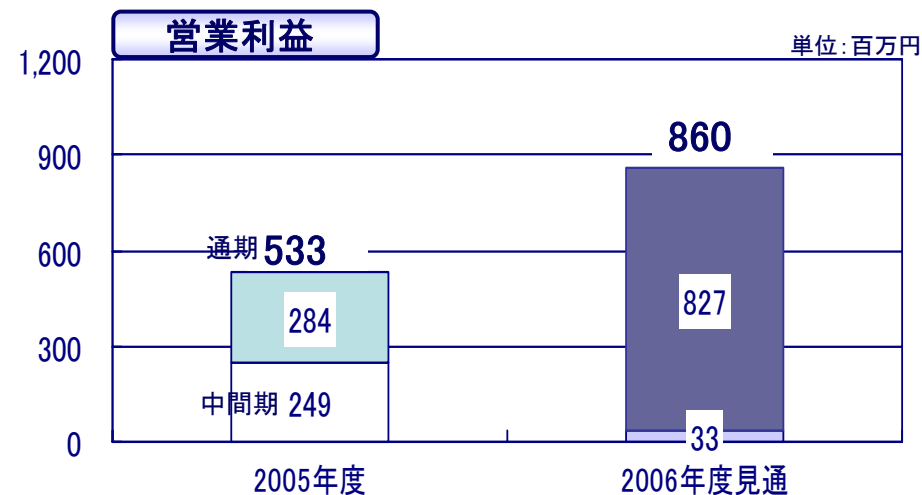
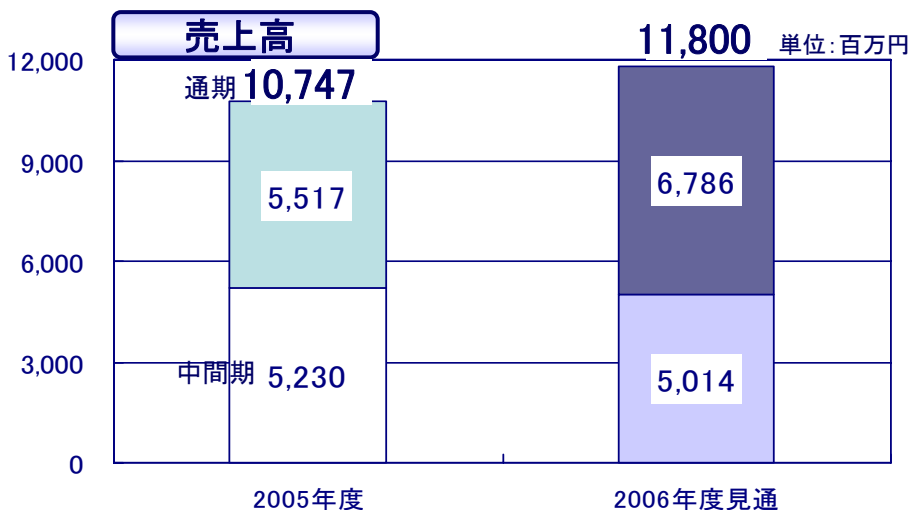
・イメージシティ社(06/1統合)、ログイット社(05/12子会社化)とホワイトパジャマ・ジャパン(06/7設立)による成長を加速

➢ **日本版SOX法対応や内部統制関連**

・機能強化製品の拡充と加速展開

◎**医療向け**

➢ 展開拠点の拡充を基盤に一段の体制強化とソリューションの拡充



下期主要アクション

◎データセンター(主に企業向け)

2006年3月自社保有化

➢特に首都圏のデータセンター需要増に対応する積極的な事業拡大とサービスの多様化

◎インフォコマース(消費者向け)

➢着信メロディ/着うた等コンテンツ配信事業は、「めっちゃ」ブランドを活かし収益の極大化を狙う

・新規サービス充実

Ex. 独自のアレンジによる「めっちゃうたコモン」

Ex. iチャンネル(NTTドコモ社)を活用した「めっちゃメロ♪チャンネル」

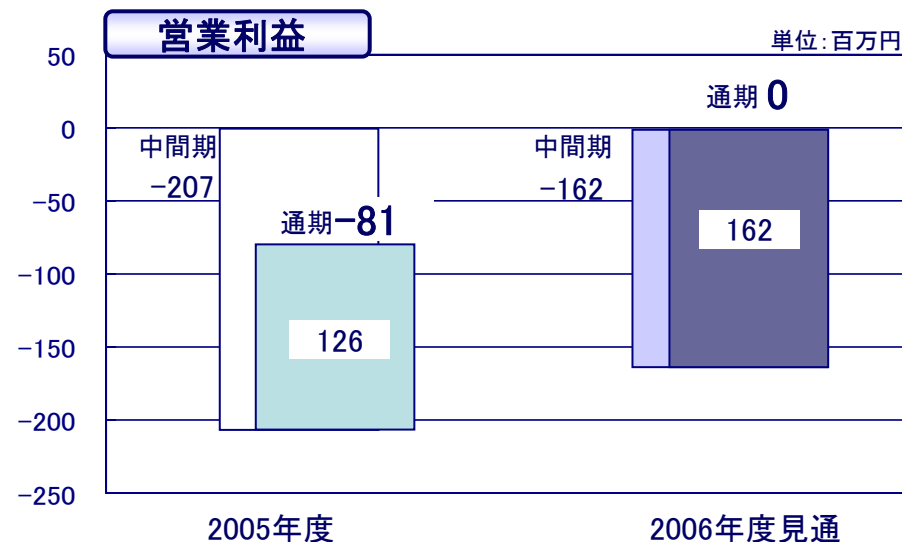
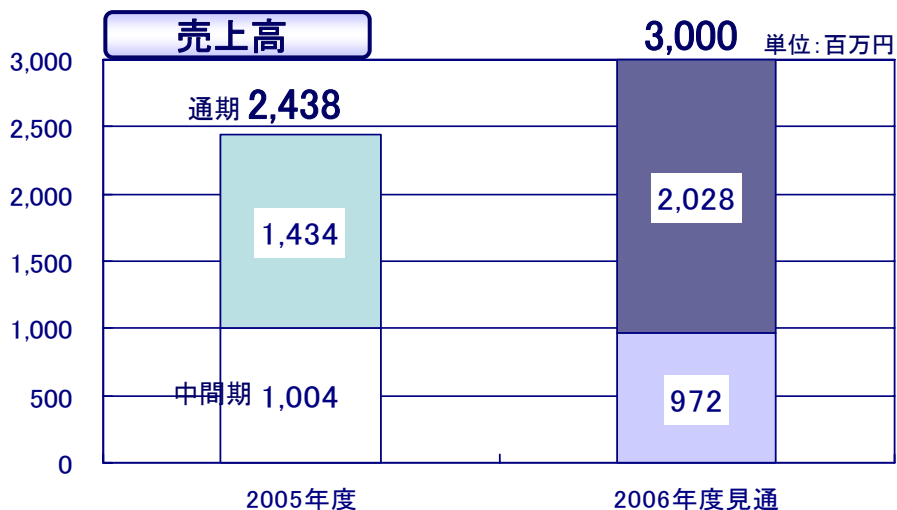
Ex. 携帯電話で最新コミックから定番コミック、写真集等も楽しめる「めっちゃコミックス」や「めっちゃブックス」開始

➢e-コマース事業の拡大

・ドゥマン社との協業によるe-コマース事業の拡大

・新ブランド「STAR RECORDS」(CD/DVD通販サイト)をインターネット/携帯電話上の大手ショッピングモールに出店

➢携帯電話向けニュース配信事業の体質改善の継続



下期主要アクション

◎より一層の事業構造改革を推進

▶バイオサイエンス

- ・計算化学とデータ解析事業に傾斜した積極的事業展開
- ・次世代サービス事業を展望した事業企画・研究活動の推進(フローラインフォーマティクスLLPによる腸内細菌プロファイル研究の開始等)

▶デジタルアーカイブ

- ・コンテンツアーカイブ関連市場の活況を捉えた大型受注案件の着実な開発(アジア歴史資料センター、人間文化研究機構等)
- ・博物館への展開を想定した新規事業モデルの完成

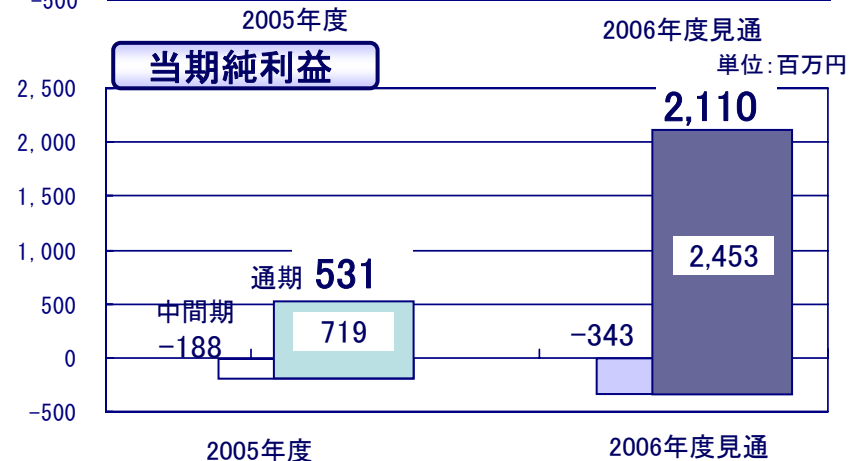
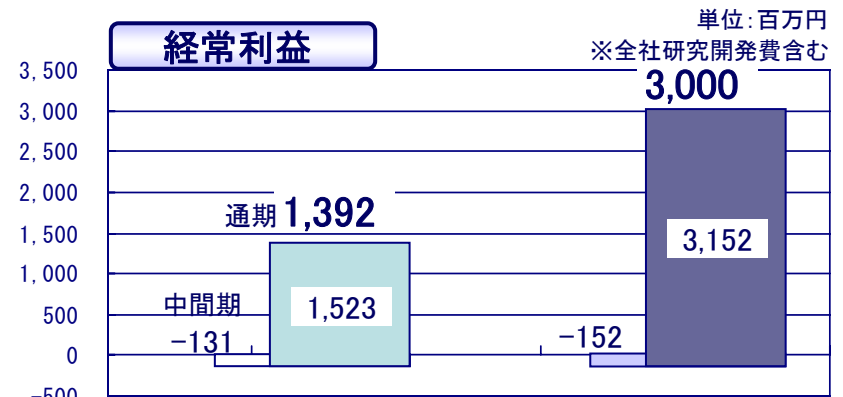
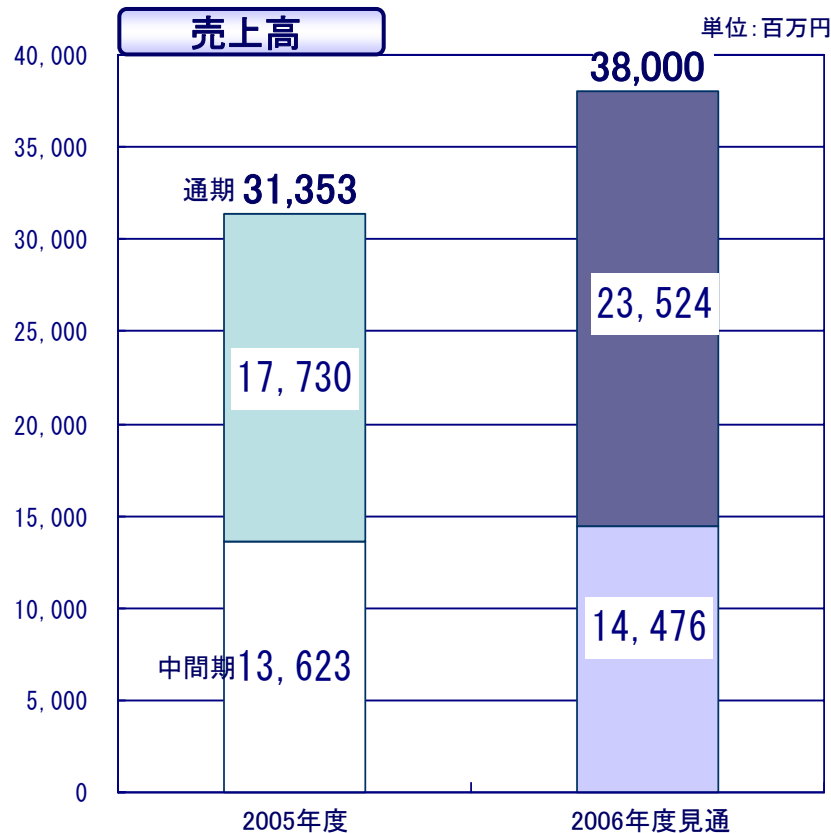
▶知的財産システム

- ・政府のプロパテント政策に呼応しつつ拡大する知財管理システム市場への新規事業モデルによる展開
- ・中規模企業向け市場への新パッケージの発売
- ・小規模企業/特許事務所向け市場へのASPサービス事業開始

▶セキュリティ

- ・当期より当セグメントに組み込み、体質と収益改善を図る
- ・サーバーセキュレイティソリューション特化による展開

■2007年3月期 通期連結業績見通し



単位:百万円

	2005年度	2006年度見通し	差異	
売上高	31,353	38,000	6,647	21.2%
経常利益	1,392	3,000	1,608	115.5%
当期純利益	531	2,110	1,579	297.4%
経常利益率	4.4%	7.9%	-	-

業績見通し等に関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

※本資料に記載されている業績見通しは、2006年11月9日に公表した弊社の「平成19年3月期 中間決算短信（連結）」に関する発表に基づくものです。

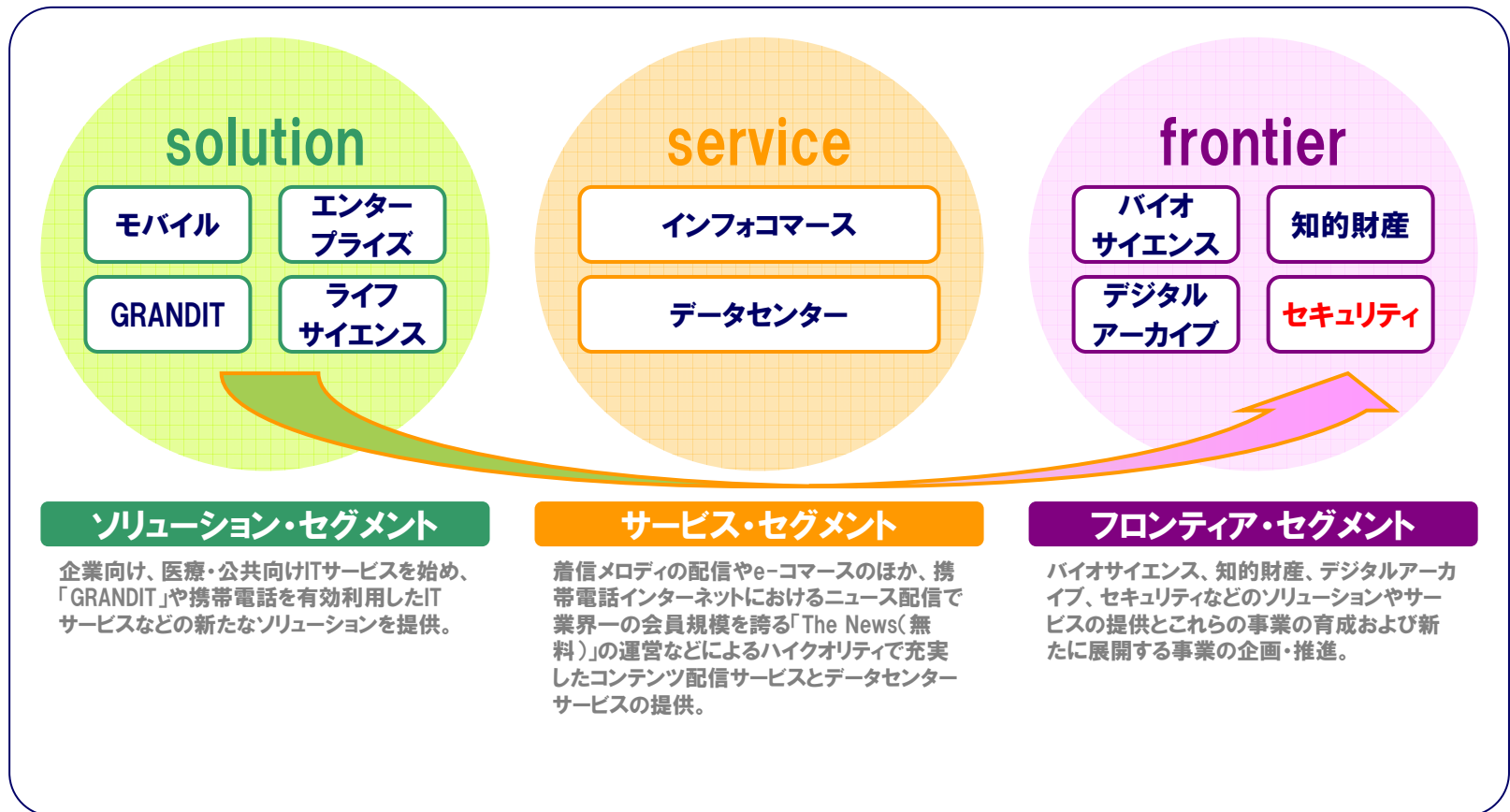
※本資料に記載された会社名及び製品名等は該当する各社の登録商標または出願中の商標です。

參考資料

■多彩な事業展開

当社の3つのセグメントで展開される多彩なソリューションやサービス。
インフォコムグループはITの進化を通じて、社会のイノベーションに貢献します。

尚、2007年3月期より、セキュリティソリューション事業をフロンティア・セグメントに組み入れました。



■ 対外発表index

ソリューション・セグメント

- 2006/04 ログイットが「セキュアBOSS」「LiMS」の販売開始
- 2006/05 『GRANDIT』コンソーシアムに(株)DACCSが参加
- 2006/05 「内部統制支援ソリューション」強化
- 2006/07 Contactual社と戦略的事業提携、ホワイトパジャマ・ジャパン設立
- 2006/08 携帯電話向けウェブメールサービス「00Mail」開始
- 2006/08 WPJ、コンタクトセンター向けASPサービス「keepa」の提供開始
- 2006/09 ログイットが「ウチノBoss」販売開始
- 2006/10 インフォベックが「GRANDIT 内部統制コンテンツ」販売開始
- 2006/10 ドウマンと包括的事業提携締結、第三者割当を引き受け
- 2006/10 インフォベック、インプレスと内部統制支援サービスで協業
- 2006/10 「ウチノBoss」評価版をマイクロ総合研究所製ルータに同梱

サービス・セグメント

- 2006/07 「めちやうま」、iモード公式サイトに
- 2006/07 CD/DVD通販サイト「STAR RECORDS」オープン
- 2006/07 脳トレ・クイズモバイルサイト「ヒマドキ」スタート
- 2006/08 携帯電話向け通販サイト「スタレコ(送料無料)」、iモード公式サイトに
- 2006/08 「ポイント付き芸能ニュース」提供開始
- 2006/09 Ezweb向け着うた配信サービス「めちやうたコモン」開始
- 2006/09 The GATE内で「出前GATE」開始
- 2006/10 イメージシティが株式情報提供サービス「1億円作る！仁科剛平の株」をスタート
- 2006/09 iモードで「めちやうた」開始

■ 対外発表index

フロンティア・ セグメント

- 2006/07 微生物群集解析システムを製品化、販売開始
- 2006/08 紀伊國屋書店と協業、学術情報公開ASPサービス開始
- 2006/09 農林水産生産者向け知財管理システム「品種管理システム」販売開始
- 2006/09 「PitBull Foundation Suite」情報セキュリティ国際評価基準で最高認証取得
- 2005/10 「PitBull Protector Plus」新バージョン販売開始
- 2006/10 テクノスルガと共同開発目的のLLPを設立

全 社

- 2006/04 社長交代、新経営体制スタート
- 2006/04 新経営理念制定

経営実績

(百万円)

	2002年 9月期	2003年 9月期	2004年 9月期	2005年 9月期	2006年 9月期
売上高	13,766	14,869	13,875	13,623	14,476
売上高計上基準 変更後※			12,869	13,623	14,476
営業利益	1,048	487	79	-168	-164
経常利益	1,042	505	123	-131	-153
当期純利益	566	254	-176	-188	-343

※ 2006年3月期より音楽コンサートチケット等の販売に関わる売上計上基準を、販売方針の転換に伴い、「取扱高」から「販売手数料」に変更しています。

財政状況

(百万円)

	2002年 9月期	2003年 9月期	2004年 9月期	2005年 9月期	2006年 9月期
総資産	13,146	15,147	14,977	17,111	17,614
純資産	7,445	8,535	9,501	10,311	10,915

※ 会社法施行に伴い2006年9月期の純資産の数値は、従来の「株主資本」の数値に「少数株主持分」を加えた数値で表示しています。

キャッシュフロー

(百万円)

	2002年 9月期	2003年 9月期	2004年 9月期	2005年 9月期	2006年 9月期
営業活動による キャッシュフロー	1,088	690	439	179	1,922
投資活動による キャッシュフロー	-502	-426	-939	-314	-729
財務活動による キャッシュフロー	-608	-195	210	-346	-260

一株あたり情報

(円)

	2002年 9月期	2003年 9月期	2004年 9月期	2005年 9月期	2006年 9月期
当期純利益	7,862.92	3,532.86	-1,223.72	-1,306.44	-2,382.07

※ 2004年9月17日をもって普通株式1株を2株の割合で分割しております。

指標

	2002年 9月期	2003年 9月期	2004年 9月期	2005年 9月期	2006年 9月期
自己資本 当期純利益率(ROE)	10.0%	3.2%	-2.0%	-1.9%	-3.3%
自己資本比率	56.6%	56.3%	63.4%	60.3%	59.8%

※ 自己資本は、株主資本と評価・換算差額等を合算しています。

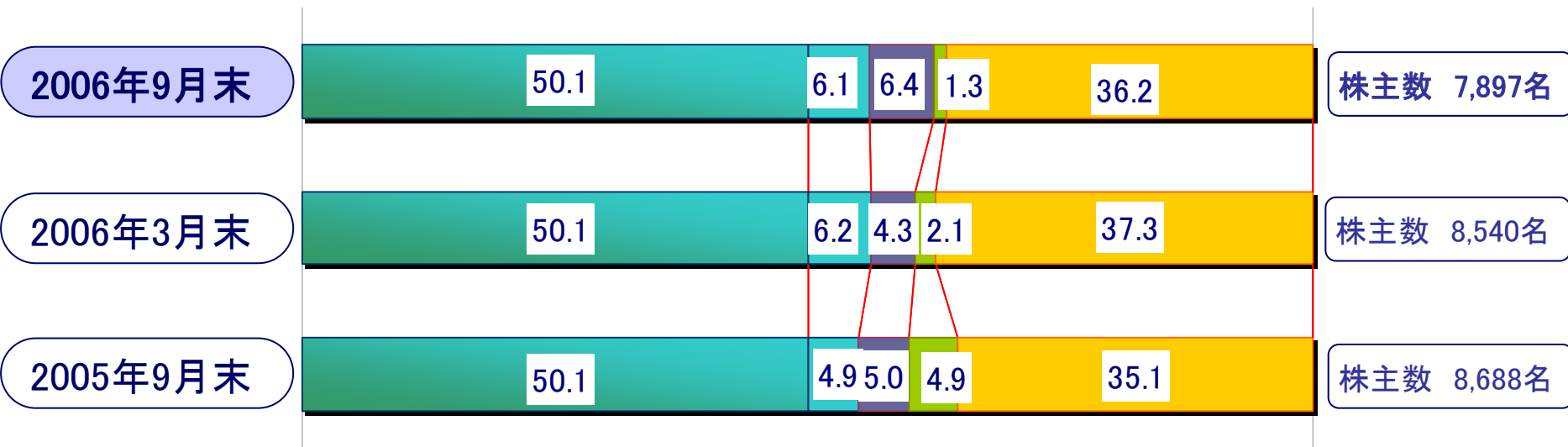
その他

	2002年 9月期	2003年 9月期	2004年 9月期	2005年 9月期	2006年 9月期
設備投資(百万円)	420	372	411	587	621
減価償却費(百万円)	362	403	358	437	460
従業員数(人)	792	861	841	1,068	1,134

■株式の状況 属性別株主比率

■ 帝人 ■ 国内法人 ■ 信託・生保・証金 ■ 外国法人 ■ 個人

数値：%



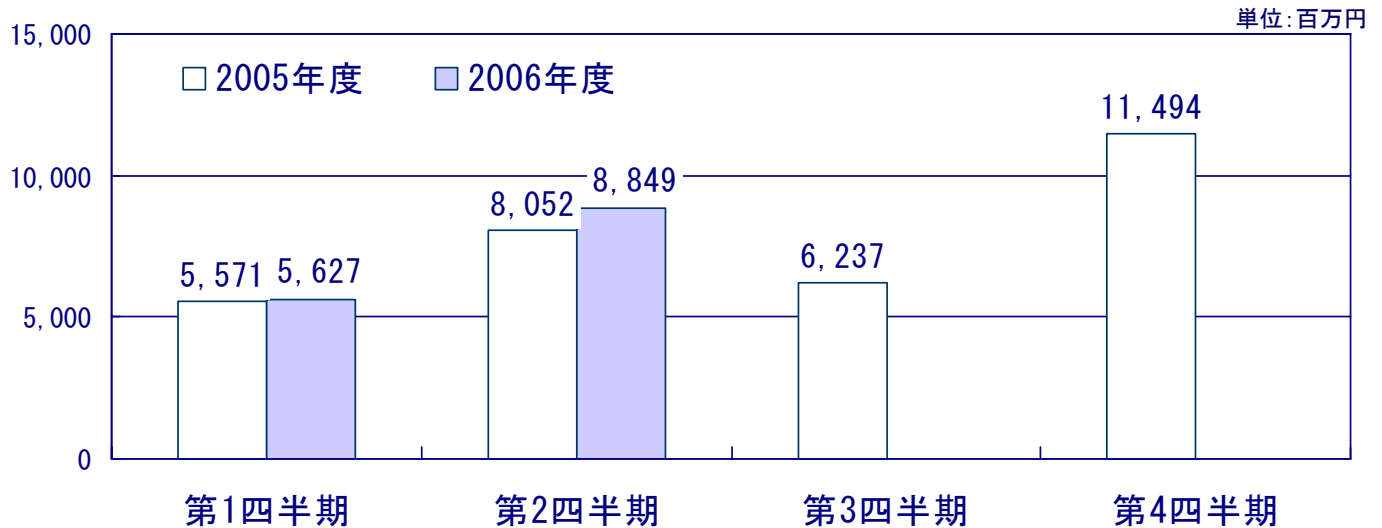
大株主 等

帝人(株)	72,200株	50.13%
双日(株)	7,200株	5.00%

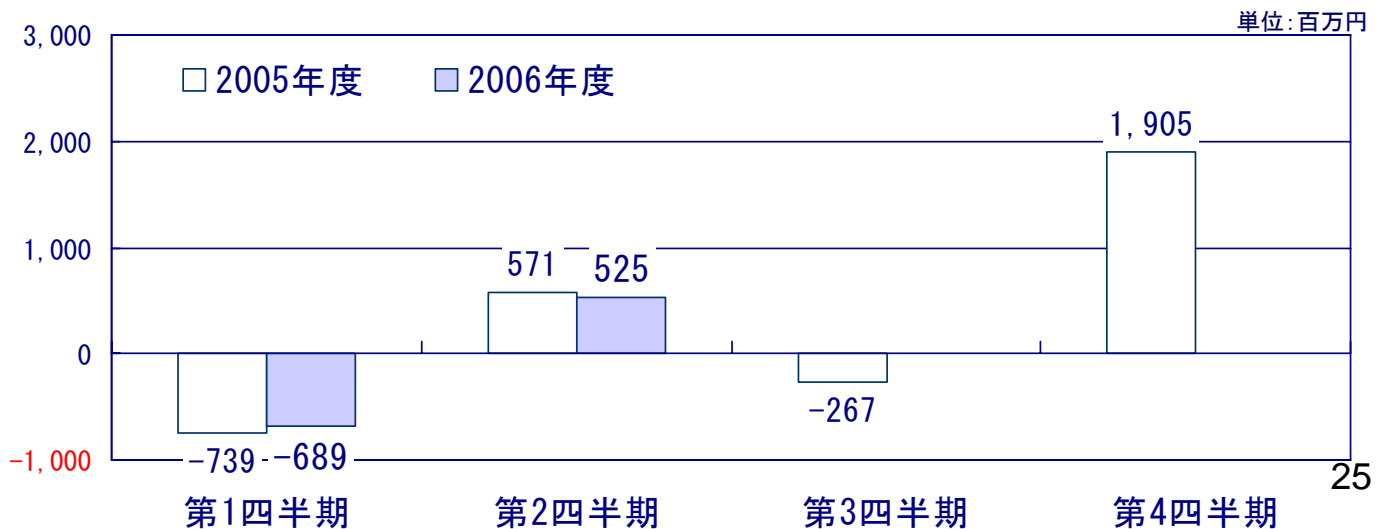
■当社グループの通期及び四半期業績の特性

事業会計年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が、年度の節目となる3月に集中する傾向にあります。こうした要因と高い主契約比率により、当社グループの業績は、売上高、利益ともに第1・3四半期が相対的に少なくなり、第4四半期に集中する傾向を有しています。

連結売上高

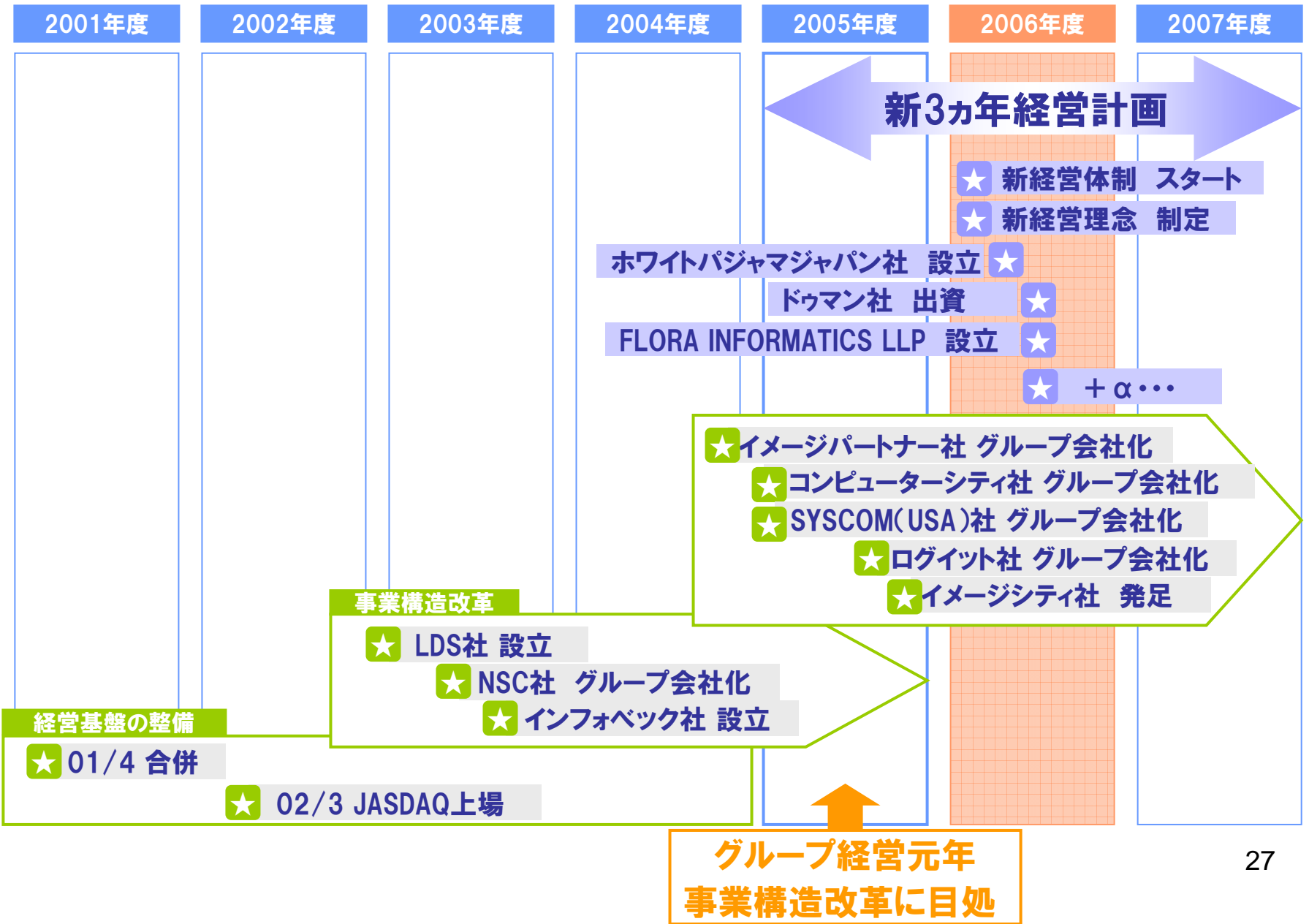


連結営業利益



新3カ年経営計画 (2006/3~2008/3)

■合併以降の取組み



**グループの
拡大と一体経営**

**事業提携や資本提携等適切な資本投資を積極的に推進
グループ会社との一体経営の深化**

新成長事業の育成

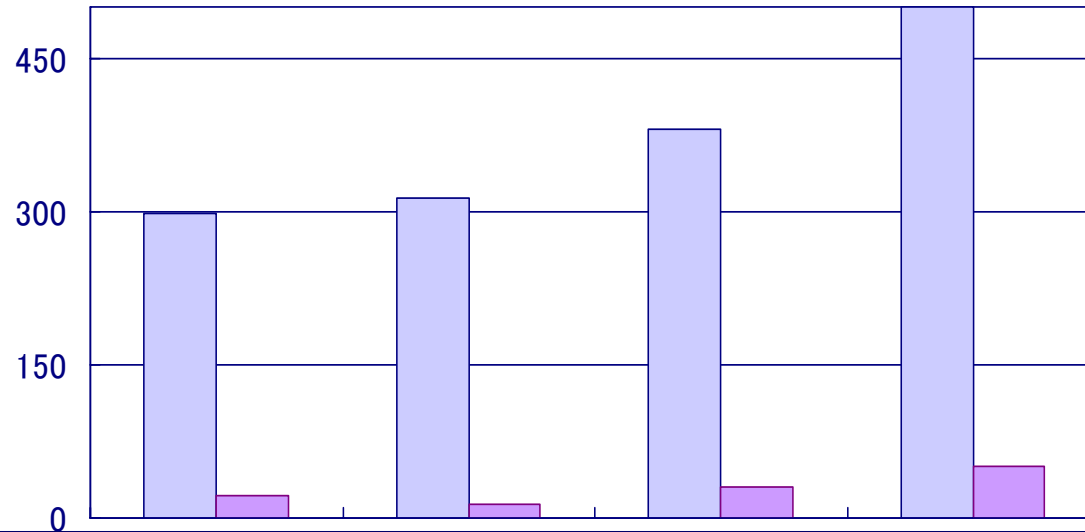
- ①**GRANDIT事業**
コンソーシアム拡充、デファクトスタンダード化
- ②**携帯電話ポータルサイト事業**
より魅力あるメディアに
戦略的事業パートナーとの提携による事業拡大
- ③**フロンティア事業**
現構成事業の体質改善の加速
次期新規事業の育成

**海外事業の
展開と拡大**

SYSCOM社を核に在米日系企業向けのサービス拡充
ネットワークインフラ事業
英語版GRANDIT本格展開
国内外3拠点によるデータセンターサービス

**サービス事業の
開拓と加速展開**

- ①**自社保有データセンターによる新サービスの展開**
- ②**新たなサービス事業創出**



連結: 億円、%	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
売上高	298	313	380	500
経常利益	22	14	30	50
売上高成長率	-0.7%	5.0%	21.2%	15%以上
経常利益率	7.4%	4.4%	7.9%	10%以上

企業理念

インフォコムグループはITの進化を通じて社会のイノベーションに貢献します。

経営方針

- ①利益ある成長を持続して企業価値の最大化をめざします。
- ②スピードある経営をおこないます。
- ③コンプライアンスを規範とした経営をおこないます。

行動指針 5つのS

- ①MS (Superior Moral Sense)
高い倫理感に基づく行動を、何よりも優先します。
- ②CS (Customer Satisfaction)
お客様の立場を常に考えて行動します。
- ③ES (Employee Satisfaction)
働き甲斐のある企業文化の醸成に努めます。
- ④FS (Frontier Spirit)
変化を恐れず、絶えず新しい価値の創造にチャレンジします。
- ⑤PS (Professional Spirit)
技術と洞察力に秀でたプロフェッショナルをめざします。

キャッチフレーズ

“ United Innovation ” Infocom Group

United Innovation **infoocomgroup**

**インフォコムグループは、
ITの進化を通じて
社会のイノベーションに貢献します。**

United Innovation
infocomgroup